



令和5年度における観光振興の取組状況について

福岡県商工部観光局観光政策課

令和5年8月28日



	観光振興指針における 施策の柱	令和5年度における 主な施策
県 主 体 事 業	1 受入環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊業の生産性向上支援 ・MaaSを活用した観光客の周遊促進 ・ユニバーサルツーリズムの推進 ・新幹線荷物輸送の実証実験
	2 観光資源の魅力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・統一的なテーマ設定による新たな観光地域づくり ・福岡・大分D Cに向けた観光資源の磨き上げ ・サイクルツーリズム、トレイルツーリズムの推進
	3 効果的な情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡・大分D Cに向けた観光事業の強化 ・国内誘客プロモーションの推進 ・インバウンド需要の開拓 ・伝統的工芸品など県産品の認知度向上・販路拡大
	4 観光振興の体制強化	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊、飲食事業の人材育成を支援 ・観光団体のDMO化を加速
	5 市町村への財政的支援	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡県宿泊税交付金の交付

令和5年度における主な観光局事業について ①

1 受入環境の充実

■ 宿泊業における生産性向上の取組みを支援

① 宿泊業専門アドバイザー等による課題整理及び解決に向けた個別経営支援

- ・「福岡県中小企業生産性向上支援センター」内に、「宿泊業支援ユニット」を設置。
- ・宿泊専門のアドバイザー（4名）を配置し、今後の観光需要回復期における需要を確実に取り込むため、業務効率化などの現場の改善だけでなく、サービスの向上や新事業展開といった売上向上に関する支援も実施。

申込件数：33件（R5.8.25時点）

② 宿泊事業者の生産性向上に資する設備導入等を支援

【対象】 上記①のアドバイザーによる支援を経て課題解決に取り組む中小宿泊事業者が実施する生産性向上に資する設備導入等に対し補助。

【補助率等】 補助率：1/2、補助上限額：300万円

申請件数：13件（R5.8.25時点）

■ MaaSを活用した観光客の周遊促進

・「BRTひこぼしライン」の開業に合わせ、「MaaS実証実験」として、「BRT全線 1日フリーチケット」と「地域限定の特典」をセットにしたデジタル乗車券「BRTひこぼしライン開業記念 1 DAY 満喫フリーチケット」を販売し、観光客の周遊を促進。

(チケット概要)

- ・乗車区間：BRTひこぼしラインの全区間（添田～日田）
- ・価格：大人860円、子供430円（区間内乗降自由）
- ・そのほか、BRT沿線の飲食店や観光施設等において割引等の特典あり

・MaaSアプリ「my route」にて、デジタル乗車券を販売するほか、東峰村・添田町のイベント・観光情報や見どころ情報の発信により、観光客の移動需要を喚起。



■ ユニバーサルツーリズムの推進

- ・ユニバーサルツーリズムを推進する意義や、取組を通じたマーケットの拡大等について理解を深めるセミナーを実施
参加者数 85名（会場:45名、オンライン:40名）
- ・アドバイザーの派遣による伴走支援
申込件数 7件（R5.8.25時点）

■ 新幹線荷物輸送の実証実験

・欧米豪からの直行便が多数運航する関西圏からの外国人観光客の誘致を促進するため、新幹線を使って、大阪市内のホテルから福岡市内のホテルに荷物を当日配送する実証実験を実施予定



2 観光資源の魅力向上

■ 統一的なテーマ設定による資源開発と商品造成を支援

① 広域観光エリアにおける新たな観光地域づくりの取組

【概要】県内6地域に、複数市町村で構成する“広域観光エリア”を設定。エリア内の市町村、観光協会、商工会議所・商工会をメンバーとする「新たな観光地域づくり検討会」においてエリアのテーマを設定し、体験プログラムの開発、食の新メニュー開発等を実施。

エリア	エリアを構成する市町村	テーマ / 主な取組内容
筑前玄海エリア	宗像市、古賀市、福津市、芦屋町、岡垣町	「イカのまち」/多様なイカの食メニューの開発、フェアの開催
八女・筑後・広川エリア	八女市、筑後市、広川町	「クラフトのまち」/職人の情報一元化、職人との対話を取り入れた体験プログラム造成、長期滞在・再来訪を増やすための取組
飯塚・嘉麻・桂川エリア	飯塚市、嘉麻市、桂川町	「エネルギーの源があるまち」/アウトドアアクティビティと食（和牛、ホルモン、卵等たんぱく質を中心に）のコンテンツの充実
京築エリア	行橋市、豊前市、苅田町、みやこ町、吉富町、上毛町、築上町	「神楽の里 鬼すごい京築」/「鬼」を強調後の意味で使用し、インスタ映えのスポットのプロモーション、メニュー開発等に展開
久留米・うきは・朝倉エリア	久留米市、うきは市、朝倉市	「ヘルス&ビューティーのまち」/温泉、フルーツ、ハーブ、きれいな水などを切り口にした旅行商品を造成、資生堂工場見学者の滞在を促す
日田彦山線沿線エリア	東峰村、添田町	「ものづくりと修験の文化」/令和5年夏の開業を予定しているBRT開通時における観光プロモーションを視野に、観光資源開発・旅行商品造成等を推進

② 地域の特徴を活かした個性ある宿泊施設整備及び新たな体験プログラム開発等の支援

▶ 個性ある宿泊施設整備補助金

【対象】 エリアの地理的特性や歴史・文化などの地域の特色を活かした個性ある宿泊施設の新規整備又は改修

【補助率等】 補助率：1/2

補助上限額：1,000万円

申請件数：2件（R5.8.25時点）

▶ 新たな観光地域づくり補助金

【対象】 体験プログラム開発、受入環境整備及び観光消費拡大に資する事業

【補助率等】 補助率：1/2

補助上限額：200万円

申請件数：6件（R5.8.25時点）

■ 福岡・大分DCに向けた観光資源の磨き上げ

① 複数の市町村が連携して取り組む広域観光ルートの開発を支援

共通の「観光テーマ」を設定した福岡県内の2つ以上の市町村、観光団体（観光協会・DMO等）が連携して実施する体験プログラムの開発、プロモーション等の取組を支援

【申請者数】 5件（R5.8.25時点）

【申請テーマ】

協議会等名称	構成市町村	主な取組内容
「立花宗茂と閻千代」NHK大河ドラマ招致委員会	柳川市、みやま市、久留米市、大牟田市、八女市、筑後市、大川市、うきは市、太宰府市、古賀市、大木町、広川町、新宮町、久山町	立花宗茂公と閻千代姫のゆかりの地を巡る、広域観光ツアーを造成
筑後シェアサイクル協議会	八女市、筑後市、柳川市	シェアサイクルの導入、駐輪場などの環境整備、メディアやSNSでのプロモーションを実施
福岡「森と文化」推進協議会	豊前市、篠栗町	「森の文化（修験道・お遍路等）」をテーマに、体験コンテンツ（森林浴+a）の開発・造成&磨き上げやプロモーションを実施
平成筑豊鉄道沿線サイクルトレインを活用した観光振興検討会	直方市、行橋市、赤村、みやこ町	平成筑豊鉄道サイクルトレインの定期運行実現に向けた検討や、沿線周遊促進策を検討
日本遺産「古代日本の『西の都』」観光活性化検討会	太宰府市、筑紫野市、春日市、大野城市、那珂川市、宇美町	日本遺産『西の都』のストーリーに沿ってガイドができる人材の育成及びガイドツアーのプロモーションを実施

■ サイクルツーリズムを推進

① ディスカバー九州

【概要】 2023年10月に開催される国際サイクルレース「ツール・ド・九州2023」にあわせ、サイクリング周遊型旅行商品を展開する「ディスカバー九州」を実施。（プロモーション費用について、各県負担金を拠出）

【実施主体】 ディスカバー九州推進委員会

（事務局：九州観光機構、委員：九州・沖縄・山口各県、九経連、九州商工会議所連合会、九州観光機構）

「ディスカバー九州」サイト内における販売コース数：48コース（R5.8.25時点）

※そのほか、特別企画として、開業前の「BRTひこぼしライン」の専用道を含むコースを走るサイクリングツアー「BRTひこぼしライン専用道ライド」を7月2日に開催。

参加者：約50名（完売）



② 台湾のサイクリストの誘客促進

【概要】 福岡県への旅行者が多く、サイクルツーリズムが盛んな台湾のサイクリスト向け旅行商品造成に取り組む。

【催行実績】 R5.5.23～27 福岡・山口サイクリングツアー（5日間） 参加者数：8名

※この他、「ツール・ド・九州2023」が行われる秋ごろにツアーの催行を計画中。

③ サイクリングツアーに対応したガイド資格取得に向けた講習会の実施

【概要】 サイクリングツアーを安全かつスムーズに引率できるサイクリングガイドを育成するための講習会を実施。

【実施日時】 R5.5.10～11、R5.6.14～15の計2回

受講者数：11名

※うち8名は（一社）日本サイクリングガイド協会（JCGA）の公認サイクリングガイドとして認定。

さらにそのうち2名は、JCGA最高位のサイクリングガイドマスターとして認められた。

3 効果的な情報発信

■ 福岡・大分DCに向けた観光事業の強化

① 全国販売促進会議の開催

【目的】

全国の旅行エージェントに対し、福岡・大分各地域で磨き上げた観光素材を売り込み、来春開催のDC期間及びその後の旅行商品造成拡大による観光客誘致を図る

【開催概要】

日時：R5.5.10

場所：別府コンベンションセンター「ビーコンプラザ」

参加者：477名

【主な内容】

- ・商談・観光PRブースの設置
- ・プレゼンターによる観光プレゼンテーション
- ・歓迎レセプションの実施 等



玄界灘のイカ『一本槍』



【コース例（県単独コース）】

② エクスカーションの実施

【概要】

日程：R5.5.10～5.12

コース：6コース

（福岡・大分合同3コース、福岡単独3コース）

参加者：118名

行程		宿泊施設
5/10 (水)	全国宣伝販売促進会議/全体会議（別府市内） == ホテル 19：10頃 21：10	HOTEL CULTIA 大宰府 (福岡県太宰府市宰府 3-3-33)
5/11 (木)	ホテル == 太宰府天満宮・竈門神社 == (車窓:新原・奴山古墳群) = 7：50 7：55～8：30 == 海辺の料理旅館はつしろ(昼食) == == 宗像大社神職特別ガイドツアー・★カナディアンキャンプ(乗馬体験) == 10：30～12：40 13：00～13：50 == ★フルーツライド(サイクリング&いちご狩り&スイーツ作り体験) == ★芦屋釜の里(抹茶点て体験) == 14：00～15：40 16：00～16：50 == 脳田温泉着 ホテル到着後★追い出し猫絵付け体験 17：45	脳田温泉 桶水閣 (福岡県若海市脳田507)
5/12 (金)	脳田温泉 = ★くらはて学園(コスプレ体験など) = (車窓:官宮八幡製鐵所遠賀川水源ポンプ室) == 旧伊藤伝右衛門邸 = 8：00 8：20～9：00 9：40～10：20 == ★平成筑豊鉄道・金田駅舎(爆破ツアー体験) == ホルモン鍋(昼食) == 田川市石炭・歴史博物館 == 10：50～11：35 12：00～12：45 13：00～13：40 == 香春神社(九州オルレ・香春コース) == 平尾台(千仏鍾乳洞探検&アウトドア施設) == 【解散】小倉駅 14：00～15：00 15：40～17：00 18：00頃	【お食事】 1日目：朝×昼×夕× 2日目：朝×昼×夕× 3日目：朝×昼×夕×

■ 国内誘客プロモーションを推進

① 「新たな福岡の避密の旅」観光キャンペーン

【実施期間】

R5.1.10～R5.10.21 (延長)

② 閑散期の平日における宿泊助成

【実施期間】

検討中

(「新たな福岡の避密の旅」観光キャンペーン終了後に実施時期を検討)

③ ワンヘルス・SDGS学習に対応した修学旅行商品の造成支援

・ワンヘルス学習用のワークブックを作成するほか、今年度改定予定の修学旅行パンフレットにワンヘルス関連スポットを追加予定

・また、修学旅行商品造成を促進するため、旅行会社を対象としたワンヘルス・SDGS学習を盛り込んだモニターツアーを実施

【実施期間】 R5.7.25～26

【主な訪問先】

ワンヘルスの森（四王寺県民の森）、筑前町立大刀洗平和記念館、太宰府天満宮、グローバルアリーナ、ぶどうの樹、TOTOミュージアム 等

【参加者数】 8名

「新たな福岡の避密の旅」観光キャンペーン（概要）	
利用期間	R5.1.10～ <u>R5.10.21</u>
目標人数	110万人
利用対象者	全国 ※条件：本人確認書類の提示（R5.5.7以降）
内 容	①補助額 県内宿泊・旅行代金の20% ・交通付宿泊旅行 最大5,000円/泊 ・宿泊のみ 最大3,000円/泊 ・日帰り 最大3,000円/1回 ②助成方法 ・宿泊施設での直接割引 ・旅行予約サイト（6/30まで） ・全国の旅行会社で割引商品販売 ③地域クーポン券 平日2,000円 休日1,000円



■ インバウンド需要を開拓

① SNS等を活用したデジタルプロモーション

- **観光情報サイト「VISIT FUKUOKA」**（英語、韓国語、中国語（簡）、中国語（繁））
 - ・外国人ライターによる記事の作成
 - ・訪日関心層をサイトへ誘導するための広告配信
 - ・ビッグデータを活用し、サイト訪問後の行動分析（宿泊・フライト予約数等）を実施
- **観光情報SNS**（英語、中国語（簡）、中国語（繁））
 - 各国で利用の多いSNSを活用し、市場の嗜好に合わせた情報を発信
- **福岡・大分DCを活用したインバウンドプロモーション**（Instagramキャンペーン）
 - 福岡・大分の写真をInstagramに投稿すると周遊パスなどが当たるキャンペーン実施

② 海外旅行博・商談会等でのプロモーション

韓国、中国、台湾、香港といった東アジア、タイ、ベトナム、シンガポールなどの東南アジア、豪州、イギリスやフランスなどの欧州などで開催される旅行博への出展や、商談会の開催等により、広くプロモーションを実施。

○ VISIT FUKUOKA NIGHT（豪州での県観光セミナー）

【概要】

日時：R5.8.8

場所：シドニー市内の日本食レストラン

参加者数：約50名（現地旅行会社・メディア等）

【内容】

- ・豪州在住のトラベルジャーナリストによる福岡・九州の観光の魅力についてのプレゼンテーション
- ・福岡の自転車チームで活躍する豪州出身のプロ選手による「ツール・ド・九州2023」のPRや、福岡のサイクルツーリズムの魅力の発信
- ・福岡の食と県産酒をペアリングしたメニューの提供 等



観光情報サイト
「VISIT FUKUOKA」



③ 海外メディア等を活用した観光プロモーション

・7月にタイのアイドルグループ「BNK48・CGM48」の選抜メンバーを招請し、観光PR動画を撮影（youtube・TikTok等に掲載予定）



（令和4年度選抜メンバーによるPR動画）

■ 伝統的工芸品など県産品の認知度向上・販路拡大

首都圏をはじめ全国で実施する福岡県物産展において、新商品のトライアル販売コーナーや、DC、サイクルツーリズム等の観光PR特設コーナーを設置

【実施日時及び会場（予定）】

実施時期	会場
R5.9.27～10.2	京王百貨店 新宿店（東京都新宿区）
R5.10.12～10.18	東急百貨店 たまプラーザ店（神奈川県横浜市）
R5.10.12～10.17	東武宇都宮百貨店 宇都宮本店（栃木県宇都宮市）
R5.11.28～12.4	高島屋 京都店（京都府京都市）
R5.12.6～12.11	丸広百貨店 川越店（埼玉県川越市）
R6.1.12～1.18	ながの東急百貨店（長野県長野市）

4 観光振興の体制強化

■ 観光団体のDMO化を加速

① DMO本登録に必要な専門人材の育成講座を実施

- ・DMOの役割を担うために必要な「観光戦略策定・データ分析」、「デジタルマーケティング（プロモーション）」の専門人材を育成するため、県内の市町村や観光団体等を対象に、「ふくおか観光地域づくり共創塾」を開講。

受講者数：のべ39名

② DMO登録要件等に関する相談・指導を行うワンストップ支援窓口を設置

【概要】

- ・DMO候補法人等を対象に、事業計画実施に向けた個々の課題を解決するための幅広い相談を受け付ける「ワンストップ支援窓口」を設置。
- ・県内観光協会等のDMO登録要件に関する相談を受け付けるほか、その課題内容に応じた専門家を派遣。

【支援内容の例】

- ・DMOの機能や役割についての説明、課題抽出のためのヒアリング、DMO登録に向けたロードマップ作成 等

支援団体数：1団体（R5.8.25時点）

■ 宿泊、飲食事業の人材育成を支援

・ハラル、ヴィーガンといった多様な食文化の普及啓発やメニュー開発に向けた支援を実施

① 食の多様性対応セミナーの実施

・食の多様性にかかる市場の最新動向や、外国人の文化・習慣等に配慮した接客等について学ぶとともに、福岡ならではの食材を活用したメニュー試食会も実施

【開催日程（予定）】 R5.8月～11月（計4回開催）

（セミナー概要）

日程		テーマ
【Day1】	8/31(木)	食の多様性市場の最新動向と福岡での対応方法(基礎編)
【Day2】	9/6(水)	Day1の応用編、福岡ならではの食材を活用したメニュー試食会
【Day3】	10/11(水)	Web、SNS、Googleマップ活用術
【Day4】	11/15(水)	外国人の文化・習慣に配慮した接客のポイント

② メニュー開発支援

・専門アドバイザーが福岡名物などの既存メニューを活かしたメニューの開発や、食の多様性に配慮した食材・調味料の仕入れ先の開拓方法等について助言

【対象事業者】

①のセミナー参加者から募集を行い、最大で20事業者程度を支援予定。

福岡県宿泊税条例に基づき、条例の施行状況や税のあり方について検討を行うため、「福岡県宿泊税検討委員会」において議論（委員長：勢一西南大学教授）。

<検討委員会の開催状況>

令和5年5月24日 第1回検討委員会（条例の施行状況や税のあり方を議論）

令和5年7月26日 第2回検討委員会（報告書（案）の方向性を議論）

（令和5年8月18日 パブリックコメントを開始（～9月4日））

<条例の施行状況や税のあり方についての議論の方向性>

- ・条例施行から3年間、福岡県観光指針のもと、宿泊税や新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用しながら施策に取り組み、その事業成果については一定の評価ができる。
- ・福岡県が引き続き観光振興に取り組むことは、地方創生の観点から重要であり、その財源として宿泊税は引き続き必要。
- ・現時点において直ちに制度を変更しなければならない状態にあるとは言い難く、制度の変更によって生じる宿泊者と宿泊事業者双方の負担に配慮する必要があることから、現行の税制度を維持することが適当。

<検討委員会において委員からいただいたご意見（施策に対するもの）>

- ・受入環境の整備は、宿泊業にとってありがたい施策であるが、まだまだ行き渡っておらず、継続して実施する必要がある。
- ・destinationキャンペーンといった事業では、旅行会社やバス事業者等の交通関係、宿泊業が一体となって人を動かしていく。こういった事業を大いに活用したらよいのでは。
- ・観光振興のカギはおもてなし、という話もよく聞くが、生産性向上や人手不足と相反するという課題がある。これを解消するような新たなおもてなしの形を検討してはどうか。